

取組状況を踏まえた課題等について

1. 休眠預金等活用制度の活用状況の把握と評価

- (1) JANPIA からの聞き取り
- (2) 今後参考とすべき団体・事業の把握

2. 今後検討すべき課題

- (1) 事業規模の段階的拡大^(注)
- (2) 予期せぬ事態等にも迅速に対応できる仕組みの改善・充実^(注)
- (3) 出資・貸付けの取扱い
- (4) 従前の運用方針の見直し（同一事業の申請、1件当たり助成額の目安など）

(注)「骨太 2021」に記載

3. 各種計画の審議

- (1) 「2022 年度休眠預金等交付金活用推進基本計画」
- (2) JANPIA 「2022 年度事業計画・収支予算」

※ 休眠預金等活用法附則第 9 条において、5 年後の見直しが規定されており、これへの対応が必要。